



No. 8 発行
神戸市須磨区横尾9丁目5番1号
TEL 741-1501(代)
FAX 741-1512
啓明女学院内
金星会

母校「啓明」のアピールを!!

同窓会会長

渡邊 カナコ



昨年八月に、阪神・淡路大震災に関する記事満載の同窓会報「金星」No.7を発行して以来、早一年の月日が流れました。金星会会員の皆様、その後お元気にお過ごしでしょうか。被災により今なお厳しい状況の中で生活で頑張っている方や、深い心の傷を抱えて生きている方達に、一日も早い復旧と癒しがありますよう祈っております。

あの壊滅的な震災の為に延期を余儀なくしておりました金星会総会は、今年十月に開催の運びとなりました。その御案内が「金星」No.8を今、再び貴方のお手元にお届け出来ることを嬉しく思います。懐かしい母校のニュース、恩師や同窓生からの心温まる便りに接して、ひととき、心のオアシスに浸って頂ければ幸いです。

さて、啓明女学院は、教職員、関係者各位のたゆみない御努力により発展の一路を歩んで参りました。本年は中高生徒数合わせ一三七七名であります。毎年約四百名前後の同窓会員が誕生しており、現在会員数およそ一四、五〇〇名余とございます。しかし、日本は既に少子化加速時代に

入っており、小学校・中学校卒業生が、年々減少しております。その趨勢を慮ると、これからが、私学啓明女学院の真価が問われる厳しい正念場の時期になると考えられます。いよいよ声価が問われる時に、その一端を担っているのが私達卒業生自身ではないでしょうか。在校生同様、私達卒業生も又、折にふれ母校啓明を代表してその看板を背負っているのです。私達は、建学の精神であるキリスト教主義教育と特に英語に堪能なグローバルな女性育成という高い理想を掲げる啓明で学びました。啓明での教育の成果をあげ、花を咲かせ実を結ばせるのが私達卒業生の使命であり、報恩であると思えます。数多の同窓の姉妹が、国内及び海外のそれぞれの場で、世のため人のため、あまねく活躍しております。人はその人生に於いて、何を為したかということより、どのように生きたかということの方が重要であると申します。いつ如何なる場合、何処に在っても、啓明で培われた「神を敬い、人を愛する心」でもって事に当たり、神のみに添った生き方をすることが大切だと思います。今こそ私達卒業生一人一人が母校へのさらなる愛と誇りをもって意気軒昂し、母校啓明の豊かなスピリットと優れた特色を、世にアピールしていくにはありませんか。皆様の今後の御協力と御支援をお願いし、来たる十月十九日の総会でお逢い出来るのを楽しみにしております。

院長就任のご挨拶

啓明女学院院長

中島 貞夫



金星会の皆様におかれましてはお元気に活躍のこととお慶び申し上げます。私

は一九五二年に関西学院に奉職し、一九九〇年から五年間、高等部と中学部両部の部長および法人の理事を勤めたあと、昨年三月末に閑学を定年退職しました。そのあと、啓明女学院理事会の一員に加えて頂きましたが、このたびは、はからずも院長に就任することになりました。身に余る光栄と存じますとともに、その責任の重さに深い畏れを感じております。

ところで、関西学院は一八八九年、米田の森に創立された学校ですが、私たちの啓明女学院もそのルーツは、一八八六年にランバス先生によって創られたパルモア学院にまで遡ります。したがってランバス先生ゆかりの二つの学園に関わった私としては、啓明・閑学両校の絆を一層強めるために、できるだけお役に立ちたいものと考えております。すでに皆様ご案内のように、昨今の私学を取り巻く環境は、家庭の少子化による受験人口の急激な減少、公立高校の開門率の拡大、さらに国や自治体からの公費助成の漸減傾向など、その経営状況は大変厳しいものがあります。私自身もことに身の引き締まる思いがあります。同窓の皆様への暖かいご支援と励ましを頂きながら、課せられた責任を力のかぎり果たしたいと思っておりますので、どうぞよろしく御願ひ申し上げます。私学は「プロテスト・スクール」だといわれます。公立の学校に対し啓明女学院は何をプロテストするのでしょうか。

宗教教育を禁止されている公立の学校に

対して、宗教によってこそ真の人間形成ができるのだという信念に基づいて、キリスト教教育を建学の精神とする学校、それが啓明女学院の存在理由です。

教科指導においても、ただ入試を目的とするのではなくて、将来社会に出たときに、他者に仕え、奉仕するために必要な基礎学力をしっかりとつける、そのような教科指導が求められます。若い魂に希望の灯火を点火する知的情熱にあふれる学園、キリスト教の真理がそのような人間変革を可能にするのだと思います。

徳知兼備

啓明女学院中学校・高等学校校長

黒川 行信

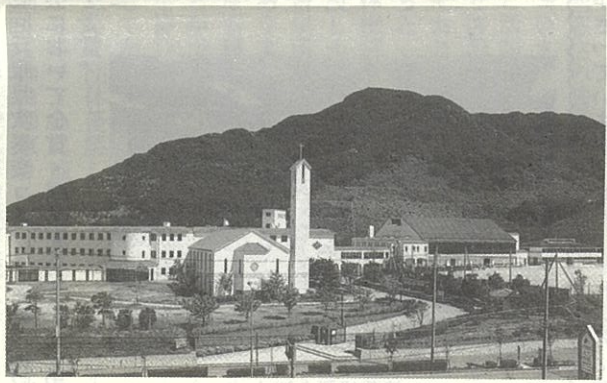


同窓会の皆様には、平素から学院の充実に格別のご支援を賜わり、あつく御礼申し上げます。学院では、キリスト教精神に基づく、優しい思いやりに満ちた人格の形成と、国際社会に広く活躍できる豊かな知性の涵養に努めております。

前者については、チャレンに理事の井坂先生をお願いして、チャペルでの礼拝や宗教行事、聖書の授業などについてご指導をいただいております。そのお蔭で、生徒たちはボランティア活動などに熱心にとり組み、震災の仮設住宅への慰問なども行って、ご近所の聖隷福祉事業団はじめ多くの福祉施設から感謝されています。生徒たちの宗教的情操を高めるということは、学院の建学の精神なので今後も重点的に進めてまいります。

後者については、三年生の約一〇%が就職を、約九〇%が進学を希望しておりますので、それぞれの希望が達成できるように、授業はもちろん、課外の補習や面接指導などにも力を入れています。これも担当の先生方のご尽力により、就職については、厳しい状況のなかほとんど全員が就職し、進学についても、約二〇%が県立神戸商大や関西学院大、青山学院大など四年制大学に、約四五%が神戸海星女子短大や松蔭女子短大、武庫川女子短大などに進学しています。また本年からは、梅花女子短大、神戸山手女子短大と教育研究の提携を行い、情報交換や入試の特別措置を頂くことになりました。

一方、部活動も活発で、サッカー部は、全国高校女子選手権大会で準優勝、三位入賞を果たし、西日本高校女子サッカーフェスティバルで二年連続優勝しました。



啓明の、96年度テーマ聖句

『御旨にかなう道を歩む』

主は人の一歩一歩を定め、御旨にかなう道を備えてくださる。人は倒れても、打ち捨てられるのではない。主がその手をとらえていてくださる。詩編三編三三、三四節

啓明女学院学院祭

日時・9月21日(土) 9時~3時
場所・啓明女学院

同窓会はケーキと紅茶の喫茶店を開いています。(3階)
ぜひ同窓会のお店に来て下さい。

尚、当日、同窓生の出店を募集しています。衣料品、アクセサリー等、出店を御希望の方は、九月十日迄に、左記へ御連絡下さい。
渡辺(〇七八)二四二一〇八九
高瀬(〇七八)七四一七六七〇



同窓会報の題字「金星」は、第四回卒業生、中村(旧姓元林)倭文子氏による。

平成8年度「金星会総会」ご案内

日時：平成8年10月19日(土) 14:30～17:00 (受付 14時開始)
場所：ポートピアホテル Tel.078-302-1111 B1「偕楽」の間
会費：8,000円 (新会員45・46・47・48回生は 5,000円)
プログラム：昼食懇親会・報告事項・アトラクション・福引き
申し込み方法：同封の申し込みハガキに記入の上、御返送下さい。(出席の方のみ)
申し込み×切日：10月10日(木)

出席の返事を出されて、無断欠席の場合後日、会費をいただきます。
 万一、不都合が生じた場合は、3日前(10/16)までに、下記に必ず御連絡下さい。
 渡辺(078)241-2089
 高瀬(078)741-7670

平成8年度総会を左記の如く開催致します。懐かしい恩師を囲み、新旧同窓生相集い、楽しい秋のひとときを過ごそうではございませんか。皆様お誘い合わせの上、多数御参加下さいませ。詳しくは左欄を「らん下さい」。

母校だより

生徒会ニュース
 生徒会顧問 金谷 一郎

会での上位の成績をおさめています。
 バトン部
 第14回関西バトントワリングコンテストに参加高2初級ソルトクルールの部で金賞2名、銀賞4名、銅賞2名
 サッカー部
 第5回関西高等学校女子サッカー選手権大会優勝 啓明女学院3-1西山高等学校 全国大会出場決定

文化部の活動

文化部は、23の部が活動しています。文化祭は主に校内での活動を中心とし、その成果を文化祭等で発表しております。いくつかのクラブについて紹介しますとYWC A部は、絵本作りの他に、仮設住宅の人との交流会等を定期的に行っています。また演劇部もYWC A部と共に仮設住宅に行き上演したりしています。また放送部は、今年も第43回NHK杯全国高等学校放送コンテスト全国大会出場が決定しました。テレビ番組自由部門「悲しみを越えて」という作品で県大会

を三位で通過しました。卒業生の皆様、文化部の活動の成果を見て頂けたらと思います。文化祭での御来校をお待ちしております。いくつかのクラブの昨年度の成績を紹介いたします。
 放送部
 第42回NHK杯全国高等学校放送コンテスト全国大会
 第3位 作品 「明日への架け橋」
 吹奏楽部
 第42回兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会において金賞・同県大会において銀賞を受賞。



箏曲部弾き初め

ボランティア活動

仮設住宅自治会との交流を始めて...

YWC A部の活動は、私たちの隣りに対して何が出来るかを考え、実行に移すことを目的にしています。3年前より始めた『チャイルド・スポンサー』の働きも、その行動の1つと考えています。この3年間、タイの1人の子供の『スポンサー』として校内で募金活動を続けてきました。昨年末より地下鉄名谷駅前街頭募金を始め、月1回行っています。最初はなかなか出なかった「チャイルド・スポンサーの募金、よろしくお願ひします。」の声も、今は駅前が大きく響くようになりました。

昨年夏、本校の近くの椿谷公園に仮設住宅が建てられ、約百四十世帯の方達が生活を始めました。そこでYWC A部の活動は、私たちの隣りに対して何が出来るかを話し合い、『夕食の出張料理』を企画しました。個別に案内を配り、数軒のお宅を訪問させて頂き、夕食を一緒に作りました。しかし、不慣れた生活の仮の住まいの台所に、私たちが上がり込んで夕食を作ることは少し困難がありました。その後、椿谷公園に自治会が出来、自治会の方と話し合い、私たちの活動の紹介をさせて頂き、交流会を持つことになりました。今年の2月より「ふれあいセンター」で月1回のペースで交流会を続けています。これまでの交流会は次のような内容で行ないました。

第一回：「昼食会、ゲーム、ビデオでの本校の紹介等」
 第二回：「本校箏曲部の演奏会」
 第三回：「ドッチボール大会」
 於：本校グラウンド
 第四回：「演劇部の劇上演」
 第五回：「昼食会」昨年に校舎の片隅に作った花壇に植えた玉葱とジャガ芋を収穫し、それを材料にカレーを作りました。
 毎回の交流会に約二十名の方が集まっ



仮設住宅での交流会

進路状況の報告

進路指導部長 上野

進学
 96年度入試は、一昨年度文部省から各大学短大に出された推薦入試に関する通知(①学力検査以外での選抜②実施時期③入学定員に占める割合)が徹底してきたために、さまざまな影響が出てきました。①については、学科試験から小論文への切り替えが増したことで、11月に集中するため受験校が制約されること、③は短大五割、四年制三割ということによって一般入試の枠が広がったことなどです。更に十八歳人口の減少、推薦入試でほぼ併願可能となったこともあって、難易度面から大学短大の二極化が進み、概して進学しやすくなってきたことは確かです。また一般的傾向として、女子の共学四年制進学志向が高まり、受験生の卒業後を見据えた資格取得志向が強まって、幼児教育・保育、食物栄養、看護関係への傾向は顕著です。こういふ時期だからこそ、啓明の生徒一人ひとりが学力を十分身につけ、ランクアップした進学先に挑戦してほしいものです。

就職
 本校の就職希望者はここ三年はの割に落ち着いてきています。より木目細かい職業指導ができなりました。しかし、ご承知の通り崩壊後の不況に加え、大震災の大きく受け、求人数は急減し、業務系は皆無に近く、ホテル、デパート、銀行もしばらくは望めそうにありません。三宮を中心とした神戸の古くから先も被害甚大で、求人先を少しづつするため、明石、加古川、三木、何れも足を運びました。幸い、卒業生は校内調整も順調に進み、で八割を越える合格率を得、厳しく反して喜ばしい成果をあげました。徒各自と教師の努力が実ったものです。一年前のこの号で同窓生の皆様が後輩の職場紹介をお願いしていたが、これからも重ねてお願いいたします。なお、表中の「就職・サービ」22名には、准看の専門学校に就職した9名を含みます。

1995年度卒業生の進路状況

| (大 学) | | (短 大) | | 専門学校(分野別) | | | | | |
|--------|---|--------|---|-----------|---|--------|----|-----------------|----|
| 神戸市看護 | 1 | 梅花女子 | 3 | 関東学院 | 1 | 関西女学院 | 7 | 商業・実務 | 8 |
| 神戸商科 | 2 | 桃山学院 | 1 | 池 坊 | 1 | 賢明女学院 | 1 | 家 政 | 4 |
| 東京情報 | 1 | 英 知 | 4 | 光華女子 | 1 | 甲子園 | 4 | 医療・看護 | 14 |
| 東京農業 | 1 | 大手前女子 | 5 | 嵯峨美術 | 3 | 甲南女子 | 3 | 栄養・美容 | 19 |
| 亜細亜 | 1 | 関西学院 | 1 | 大阪青山 | 1 | 神戸海星女子 | 7 | 教育・福祉 | 5 |
| 明治学院 | 3 | 甲南女子 | 7 | 大阪音楽 | 1 | 神戸学院女子 | 2 | 文化・教養 | 12 |
| 中京女子 | 2 | 神戸海星女子 | 3 | 大阪学院 | 4 | 神戸女子 | 12 | 工 業 | 2 |
| 花 園 | 1 | 神戸学院 | 6 | 大阪信愛女子 | 1 | 神戸山手女子 | 32 | | |
| 追手門 | 1 | 神戸芸術工科 | 2 | 大阪成蹊女子 | 1 | 夙川学院 | 12 | 就 職(業種別) | |
| 大阪学院 | 1 | 神戸女学院 | 2 | 関西外国語 | 1 | 神戸松蔭女子 | 3 | 建設業 | 1 |
| 大阪芸術 | 2 | 神戸女子 | 1 | 関西女子 | 1 | 頌 栄 | 4 | 製造業 | 4 |
| 大阪産業 | 2 | 神戸松蔭女子 | 1 | 金蘭女子 | 1 | 聖 和 | 9 | 卸・小売業 | 14 |
| 大阪体育 | 1 | 神戸親和女子 | 6 | 相愛女子 | 1 | 園田学園女子 | 7 | 金融・保険業 | 1 |
| 関西外国語 | 3 | 聖 和 | 3 | 浪 速 | 1 | 姫路学院女子 | 4 | サービス業 | 22 |
| 近 畿 | 3 | 園田学園女子 | 4 | 梅 花 | 1 | 兵庫女子 | 4 | | |
| 四天王寺国際 | 1 | 姫路獨協 | 3 | 羽衣学園 | 1 | 湊川女子 | 1 | | |

おなつかしい先生方よりお便り

(アイウエオ順 敬称略)

「啓明」はいい学校です

社会科 浅田 弘

職務がら数多くの中学校を訪問します。校長先生や進路担当の先生方が例外なく「啓明はいい学校ですね」と言われます。それは、毎年志願者が県下一、二の多数になっており、中学校での好成績者が大へん多いことでもわかります。

また、姉妹関係や保護者が本校の卒業生であることが多いことも他に見られないことだと思えます。親が自分の子を出身校に行かせるということは、「いい学校」の一つだと言えます。

そして、生徒にとって、よい記憶に残る三年間が「いい学校」でもあります。本校の文芸誌『文華』にも多くの生徒が楽しく書いてくれたと書いてあります。

今後、人としての成長や自分の進路に努力していく生徒達の「啓明」が、さらに伸びていくことを期待しています。

社会科 阿部 俊

「おなつかしい」と呼ばれるのはまだまだ先のことだと思っていました。ようやく啓明で8回目の夏を迎えたところで、バスケットボール部の指導もまだ6年目です。

2年前にクラブの横断幕を作っていたきました。「忍耐・錬達・希望」という新約聖書のローマの信徒への手紙からとったこのことを仰ぎながら、日々懸命に頑張っている生徒たちのために、自分の出来る精一杯の協力をしようと考えています。

OGのみならず、毎年8月の第一日曜に、定例のOG会を開きますので、来年にはぜひとも啓明の体育館まで、足を運びてください。お待ちしております。

若いOGへ追伸！ 浅田コーチはこの4月から、三重県の日生第一高校で教員をしておられます。



英語科 井上 明子

卒業生の皆さん、お元気ですか。皆さんの顔を思い出しながら、この原稿を書いています。看護婦さんになって頑張っている人、お母さんになりつつも笑顔で子供達に接している人……皆さんと一緒に過ごした一年々の積み重ねで今の私があり、そして現在は、在校生の若いエネルギーに刺激を受けつつ、毎日楽しく勉強しています。

私の好きな言葉に「I am OK. You are OK.」という言葉があります。自分を認め、人を認め、心を広く開けてお互いに理解し合い、前進しよう、ということ。この言葉はどのような場合にも当てはまり、この言葉を口にしたり、思う時、肩の力がスッと抜け、自然体で物事に向き合うことが出来ます。皆さんも、それぞれの立場で、自然体で、益々輝いて下さい。

聖書科 指宿 力

卒業生の皆様、お元気でいらっしゃいますでしょうか。私も啓明でお世話になり7年目を迎えました。まだまだ毎日が勉強であり、年ごとに変わる生徒気質にとまどいながら教壇に立つ日々を過ごしております。

昨年は私たちにとって未曾有の経験である大震災により、多くの被害を受け、卒業生の皆様も大変な日々を過ごされたことと思います。又、親しい方々を亡くされた方々の深い悲しみが、皆様によるなぐさめにより癒されますようお祈り致します。私におきましても一人住まいをしながら須磨の部屋が全壊し、行き場をなくし途方に暮れていた所、郭先生宅に心良く受け入れていただき、一ヶ月程居候させてもらったり、多くの啓明の先生方へ援助していただいたことにより、なんとか生活を立て直してゆけることが出来た。お世話になった方々に心より感謝すると共に、改めてこの職場に勤めさせていただいているようご喜びを感じている今日この頃であります。

英語科 河野 孝子

皆さん、お元気ですか？

早いもので啓明に初めて来た時乳飲み子だった娘が中二になっていきます。自分の高校時代しか知らない私にとって、高校卒業以来何十年振りかで接する啓明の生徒はひどいカルチャーショックを与えてくれたものでした。泣きそうになって授業を中止して職員室に戻ったり、この一年間無事に続けられるかと心配したりしたのもまるでウソのように、今ではすっかりまたえられてどんな生徒が出てこようかと負けない程たくましくなりました。教師として初めて接した人達はすでもう何児かのママになっておられるのでしようね。

年々時の経つのが早く目も歯も悪くなり白髪も増えました。相変わらず答えないうちは立たせ、指折り数えて自分の当たり所を必死で考えている子をワープしてとばしてニヤリとしたり、教師の特権を楽しんでおります。

若い人達を相手にしているのは楽しいことです。啓明女学院から要らないと言われるまでは頑張るつもりです。時には学校へ顔を見せに来て下さい。



英語科 佐野美智子

卒業生の皆様、お元気で過ごしていらっしゃいますか。啓明へまいりましてからもう30数年が過ぎました。一九八三年に今の校舎に移転後、私の知っている方々のお嬢さんが入学されることが年々増え、よこんでおります。後輩が昔とは違った広々としたキャンパスで勉学に、スポーツに、文化活動に活発と励んでいる姿を是非ご覧いただきたいと思えます。皆様から便りをいただいたり、偶然お会いする中でそれぞれの場で啓明の卒業生らしい活躍の様子を伺うのも楽しみです。時には海外でその語学力を十分に発揮して国際会議を企画されたり、大使館などでお仕事の話は後輩にも紹介しています。どうか一度は須磨の校舎をお訪ね下さい。ただただただと願っております。

聖書科 武井裕賀里

卒業生の皆様——とは言いましたが、私のことを御存知の人は、ここ八年間の卒業生だけだと思います。直接授業を持っていないでも、聖書科として礼拝で関わりましたので、覚えておられるのではないのでしょうか。

啓明での礼拝や聖書の授業、どう受け止めていたか。ほとんどの人は、在学中は苦痛だったり、眠い時間だったのではありませんか。讃美歌は歌わない、聖書は開かない、という人が卒業後、自分や友人の結婚式で讃美歌を耳にした、教会の前を通ったら「アーメン」って聞かされた、懐かしく思っ母校を訪ねて下されば、それが啓明でのキリスト教教育だと思ってしまう。

卒業して、聖書のことは何も覚えていないでも、啓明のキリスト教は皆様の心に宿り、育まれていると信じています。皆様の上に神の祝福があります様に。

保健体育科 坪井しのぶ

同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。私共もそれぞれ多岐にわたる活動の場を存じます。私も早いもので啓明に卒業して十五周年を迎えております。お陰様で毎日元気に生徒たちと一緒に走りまわっています。

創設十二年が過ぎました。その間には練習場所や、器械がなくて苦労したこともありましたが、今では公式試合用のりっぱな器械もそろい、高度な技に挑戦することができるようになりました。一九九一年神戸市総合体育大会団体第三位に入賞してから神戸市では一九九二年、一九九三年と団体優勝し、また県大会でも入賞できるチームに成長しました。第四十六回生 山口知恵さんは、一九九一年、一九九二年と、二年連続近畿大会に出場することができました。これからも、学生と共に何事にもがんばっていきこうと思っております。またお会いできる日を楽しみにしています。

保健体育科 中野 孝

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私も本学院に勤務させていただいて

て、はや二十五年の月日が過ぎようとしています。その間に、卒業した生徒達も一万人を超える数になり、あらためて月の流れの早さを実感しております。

昨年は何百年に一度あるかと言われる阪神・淡路大震災に遭遇し、自然の恐ろしさを実感しました。卒業生の皆様も、被災された方々も多かったのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。大震災から一年半が過ぎようとしています。急ピッチに復興活動も進み、今迄の姿を取り戻そうとしている現在です。一人一人の人間の力を合わせれば、大きな力となる事を感じました。卒業生の皆様、新しい力を見出し、さらに人生に役立たせて下さい。ふと、学生時代の事を思い出された時、学校に足を向けて、なつかしい日々を語りたいたいね。

金瓶村は



国語科 中村公美子

先日、歌人齊藤茂吉の故郷を訪ねて、山形県山形市に行ってきました。茂吉は、啓明に来た年の教科書に「死にたまふ母八首が載っていて、私はいそが心打たれました。十二年前に高三だった皆さんのなかで、誰か覚えていませんか？ 蔵王の山すそは五月も半ばというのにやと若葉が芽ぶいたばかりでした。木蓮も桜も山吹もつつじも藤も、白桃黄赤紫といっせいに合唱しています。しかし、生家のある金瓶村では、花のつかない暗緑の木立ちが目につきました。あかあかと一本の道とほりたりたまきはる我が命なりけり

と詠むことのできた茂吉そのままの、太くまっすぐな大樹。その枝先には今も、二教室だけの小学校が保存されています。

家庭科 福中 明子

卒業生の皆さん、お元気で過ごしていらっしゃいますか。震災から一年半が経ちますが、それぞれ大変な経験をされた方も多かったと思えます。さて、私は一昨年より中学生の担任として、日々若々しい、かわい学生達と共に楽しい学校生活を送らせて頂いています。中学生の中にはお母様もお教えしたという方もいて、母子二代にわたり啓明でお会いし、感激しています。

在学中に、「卒業してからが本当の家庭科実習が始まるよ。」とよくお話しした事がありました。健康の源として、しっかりと考え、工夫された食生活は実践されていますか。家庭経営の中で学んだ家族のあり方などについて充分検討されていますか。保育や衣生活などは？…多くの課題にむけて、しっかりとがんばって下さい。

英語科 三好 洋治

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は、6年前前、ふとしたことで、合気道の「氣」の本を一人で読んでいた時、生まれて始めて氣という言葉の体感、これは一体何だろうと、自分の浅学を嘆きつつ、いろいろな方面の文献を読み漁りました。やがて氣は人の意識に深く関わっていることが分かり、意識の世界に興味を持ち出したのです。

昔から東西の先駆者がその奥義をかいま見たり、極めたりして来ましたが、現在の科学ではまだ解明の緒にたばかりの分野です。そのような事に一切無関心だった私のような人間には、人生観を変えざるを得ないようなものでした。人生とはすばらしい教訓に満ちた世界であり、心の深い意識がその人の人生を方向づけ、回りの人との出会いは、受け取り方次第で、肯定的にも否定的にもなるものだなあとつくづく思っています。

啓明を卒業された皆様との出会いは、私にとって今は、なつかしくすばらしいものでした。

同窓会からお願い!

左記の如き各分野で活躍中の同窓の姉妹達、金屋会宛、近況をお知らせ下さい。金屋会OGの活動状況を把握し、在校生の進路の参考にしたいと思います。

商業・医療・看護・栄養・美容・教育福祉・文化・建設・金融・サービス業等。8回生大塚貴満子(旧姓西谷貴子)さんはユネスコジュニア文化センター事務局長、隆徳美術研究所主宰として、池袋画廊で油絵の個展を開く等活躍中です。住所変更の方、いつでも迅速に、金屋会迄ハガキ又は電話でお知らせ下さい。



同窓生だより

神の導きを感謝して

17回生 寛 伸子(旧姓 田中)

私にとつての「十五の春」は、実に挫折の時でした。思いもかけない公立高校受験の失敗で、いわゆる滑り止めを受け受けていなかった私は路頭に迷いました。後期受験の出来る高校は仏教系二校と啓明だけでした。母がクリスチャンで、小学校時代まで教会学校に通っていた私にとつては、仏教系の選択は到底考えることが出来ずキリスト教主義の啓明の受験を決めざるをえませんでした。忘れもしない後期入試日、試験に先立ち「放送礼拝」が持たれたのです。スピーカーから流れてくる讃美歌を聞いた時、「教会に行かなくなっていた私を、神が今一度捕まえ、この啓明女学院に招いて下さっている」と心から感じたのでした。

それから三年間は、今思い出しても心躍る楽しい日々でした。先生方や友人達とのよき交わり、生徒会活動、演劇部での公演の数々、体育祭や文化祭での充実感、修学旅行等々……。そして何より感謝すべきことは、キリスト教信仰を与えられて、高三のクリスマスに洗礼を受

けたことでした。聖書の学びをしたい一心で聖和女子大教育学部キリスト教教育学科に進学し、卒業後啓明に戻り、聖書科教師として勤務をさせて頂いた三年半は私の人生にとって貴重な一時でした。教会で出会った人と結婚、長女長男が誕生し、主婦専業の八年間を過ごしました。子育ての合間、土曜日は家庭を開放して「子供文庫」を開きました。以来二十二年間に約四〇〇人の子供が会員となり、揃えた二千冊余の絵本の世界を楽しんで今日に至っています。

十七年前、日本基督教団大阪教会のキリスト教教育主事・DCE (Director of Christian Educationの略)として招

聘されました。DCEは米国の教会で生まれた専門職で、日本の教会ではまだまだパイオニアの職種ですが、牧師と共に教会教育の教務を担当しています。年によって大阪女学院の聖書科非常勤講師として出向することもあり、忙しい毎日を送っています。

挫折の時に啓明に導かれたからこそ、クリスチャンとしての今の私の人生があることを思い、神に感謝するものです。

東京で三十年ぶり

19回生 小沼 恵子(旧姓 中井)

同期会の連絡で名簿を見たところ、東京近辺の人が多いのに驚きました。会場が神戸なので参加はむずかしいと思いつつ電話をしましたところ、東京でならと、渋谷ハチ公前で待ち合わせることにになりました。何といても三十年ぶりに顔を合わせたので前夜は興奮してなかなか寝付かれず、旧姓開地、永安、川井、の三人共昔の面影のまゝで会った途端関西弁に戻ってしまい、時の経つのも忘れて話が弾みました。中学時代のアルバム等持参し、当時を思い出しつつ、現在の家族のこと、震災後お母様を東京に呼んだこと、又私が偶然にも神戸で被災したこと

に驚かれたりもしました。東京で四人で会ったことを同期会で報告することで別

36回生 能崎 まゆみ

テレビを観ていて「あれ?もしかして!」と驚いた同級生が沢山いたようです。私自身も、まさか自分がタレントになるとは思っていませんでした。大学を卒業し、その秋から関西TVのショッピン番組に出演するようになり、もう7年その間、TVの料理・ニュース・健康・ラジオのワイド:等々、様々なジャンルの番組を経験し、今年の秋からは「タンパク質を解明する」などと、何とも難解な化学番組に挑戦する事になりました。

学生時代は、努力という言葉が一番嫌いで似合わない人間だったのに、不思議なものです。今では、地道な努力が心地良くさえ感じられるようになりました。最近、こう感じます。「才能というモノは存在しない。他人を越え仕事を勝ち取るには、他人以上の努力を重ねるしかない。」と。だから今、一生懸命頑張っています。もっと大きな夢を捕まえる為に。



関西TV「買物情報」海原小浜氏と

42回生 水谷 洋子

梅雨に入り、紫陽花が鮮やかに神戸を彩る季節となりました。皆様お元気でしょうか。昨年一年間、講師として啓明の教壇に立たせて頂いておりましたが、今年四月より姫路に位置する高校で専任として勤務することになりました。起床は毎朝五時と少し早いのですが、車窓から朝の姫路城を眺めながらの通勤にも、ようやく慣れて参りました。こちらの学校に来て最初に感じたことは、生徒が皆礼儀正しく、とてもいい笑顔をしている、ということ。机上の学習のみならず、生きる力と豊かな人間性を養うための教育を施され、内面の美しさを磨こうと前向きに努力する生徒たちの姿勢から学ぶことは多く、毎日がとても充実しております。私の愛してやまない啓明の生徒の皆さんにも前向きに明るく、かつ真剣に充実した日々を送ってもらいたいと願っています。

47回生 瀬良 智美



私は今、神戸松蔭女子学院大学で英語を学んでいます。一回生の時は学校に慣れるのと、授業についていく為の予習などで一生懸命でしたけれど、二回生になってコツも分かってきたので自分なりの勉強ができるようになってきたと思います。私の学校には、外国人の先生と話を

する部屋があり、授業の関係で週一時間しか行けないのですが、毎週一回でも英語だけの雰囲気にもなると以前よりも積極的に英語で話そうという気持ちになりました。授業は二回生でまだ専門に完全に分かれていないので高校の授業と似たものも少しありますが、英語を学ぶ意欲のある人が多く積極的に授業に参加するのでとてもいい刺激になっています。三回生からは完全に専門分野に分かれるので、昔からやりたかった英文学をくわしく勉強できるのがとても楽しみです。

33回生 松下 明美

昭和56年3月卒業(33回生)で、高2 Aクラス(担任・原谷先生)のクラス会を開催計画中です。当時のクラスメイトの住所不明故、至急左記へ御連絡下さい。松下(只)一三二〇七〇六 笹野(只)一三二四五六四 吉川(旧姓 神田)(只)一三二六九八八五

クラス会だより

11回生 上野 博美(旧姓 東)

地震の後、電話や便りで連絡を取り合うことは出来ても、揃って集まることは、

難しい状態でした。何とかお互いの元気な顔が見たいとの願いが実現したのが、9月3日(日)、数名でも集まれば良いと思っていましたら、東京、横浜、千葉、飯住居の加東郡等、遠方組も含めて15名の参加でした。

「いろいろや」でしゃぶしゃぶをいいただきながら、話もっぱら地震のことばかり、参加出来なかったあの人、この人の消息も聞き、それぞれ被害があったものの、無事を確認することが出来喜び合いました。みんな話したいことがいっぱい、時間はあっという間に過ぎて行きました。次に場所を変え、おしゃべりをし、再会を約束して散会しました。

三宮駅までの道、駅周辺はまだまだひどい状態で、改めて地震の大きさを感じました。時間が遅くなり、大西先生の訪問が出来ず残念でした。大西先生、今年、娘たち必ずお伺いします。楽しみにしてして下さい。



11回 クラス会

17回生 才田 章子(旧姓 箱根)

一昨年の一通の年賀状の文面が私達17回生同期会を開催するきっかけとなりました。思えば卒業して三十年目、丁度節目の年。この機会を逃がすと同期会は、開催出来ないかと……

一年発起で、同期生数名と準備に取り掛かりましたが、あの「震災」で一時は開催が危ぶまれましたが幹事を引き受けて下さった方々・同期生のご協力で、平成七年十一月十一日に「北野クラブ」において開催することが出来ました。開催当日は、山本先生・佐野先生・島先生・西川先生の四名、同期生の中には、東は東京・西は岡山からと三十五名の出席者を得、懐かしい皆様とお目にかかることが出来ました。

会の最初に寛さんが、同期会を謝し、既に亡くなられた同期生五のご冥福を祈って会が始まりました。話し、戸惑いの中、一瞬に過ぎ、三年後の再会を約束して引かれる思いでお別れとなりま

19回生 藤井 敬子(旧姓 山本)

でも皆健康で、若々しくこんな時間を過ごせた事を神に感謝し、湧いてきた、貴重な一日でした。

